

がんばろう 南三陸町 復興第 25 号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
志津川広報センター
企画・編集 千葉伸孝



町長には現職の佐藤仁氏

町議会議員 16 人の顔ぶれ決まる

南三陸町長選開票結果

任期満了に伴う南三陸町長選は10月27日に投票が行われ、即日開票の結果、現職の佐藤仁氏が新人の小野寺寛氏を破り、3選を果たしました。投票率は78.12%でした。

当	5,308	佐藤 仁	無現③
	4,221	小野寺 寛	無新

南三陸町議選開票結果

同時に行われた南三陸町議選は即日開票の結果、現職10人、元議員1人、新人5人で、党派別では共産1人、無所属15人に決まりました。投票率は78.10%でした

当	1,097	山内 孝樹	60	無現③
当	693	山内 昇一	69	無現③
当	648	高橋 兼次	59	無現②
当	637	佐藤 正明	59	無新①
当	616	及川 幸子	61	無新①
当	566	村岡 賢一	63	無新①
当	529	後藤 清喜	62	無現③
当	527	阿部 建	73	無現②
当	523	後藤伸太郎	34	無新①
当	515	三浦 清人	59	無現③
当	506	星 喜美男	64	無現③
当	477	菅原 辰雄	66	無現③
当	473	佐藤 宣明	66	無現②
当	452	西條 栄福	62	無現③
当	388	今野 雄紀	55	無元②
当	309	小野寺久幸	62	共新①
	286	千葉 伸孝	57	無現
	249	佐藤 門哉	72	無元

南三陸町シルバー人材センター解散総会



ポータルセンターに 90 名集う

10月10日に社団法人南三陸シルバー人材センターの「平成25年度臨時総会」が南三陸ポータルセンターで開催された。

震災以前の10年間があり、平成15年度の発足時162名が参加し、平成17年には最大210名が在籍し、ここから少しずつの減はあるものの、平成22年には187名に、地域の事業所からの引き合いも多く、地域振興や発展の一役を担い、事業実績も安定し推移していた中での大震災だった。

出席者は90名で委任状40名を加え過半数となり総合成立となった。会の始めに「黙祷」が行わ

れ、震災時それ以後に亡くなられた17名の方々の冥福を祈った。未だに不明11名があり、仮設での生活者が73名、みなし仮設・住宅購入者が16名と会員の動向の報告がなされた。

勝倉理事長の総会挨拶では、シルバー人材センターの役割の一つに「町民とのふれあいと生きがい対策」と話す。総会では建設的なご意見をお願いしたいと述べ、「不自由な環境ながら、いつかはいい日が来る」と締めくくった。「創立10周年記念誌」の中では、「自主・自立・共働・共助」のもとで、生きがいと健康を求め、笑顔と親切丁寧な就業を心がけると、センターの基本理念を記した。多くの家族・親戚・知人友人を亡くした無念や、今年10周年記念式典を盛大に祝うことができなかつた。そして、臨時理事会での解散の決定への流れが綴られていた。また、被災後の鈴木事務局長が会員の安否確認、事業の再会への模索など、これまでのセンター再開への取り組みの労を伝えていた。

事務局より人材センター継続調査の結果報告があり、173名送付に109名の回答があり、「継続59名」、「退会50名」があり、その理由に高齢や病気が上がっていた。



鈴木事務局長から経過報告

現在、南三陸町内の事業所では、工場の再建が進んでいるが、労働者不足で頭を悩めている。こうしたことから60歳で定年を迎え、70歳を過ぎてもまだまだ仕事のできる、シルバー人材センターの方々の力は、被災地復興再建の大きな力であり、高齢化が進む南三陸町にとって、生きがいをもって南三陸町のふる里での暮らしを望む方も多い。行政の高齢者対策が求められ、新たな活動支援としての受け皿を図る必要性を感じる。

平成の森仮設と東大阪東ロータリークラブ



車両支援プロジェクト

10月20日、東大阪東ロータリークラブの車両支援プロジェクトに同行した。平成の森集会所において行われた車両(軽トラック)の引き渡し式と、自治会とクラブの交流会にも同席し、被災地の当時と現状、そして今回の支援活動について意見交換が行なわれた。

東大阪東RCの被災地支援プロジェクトは、軽トラックの3年間のリース契約料(87万円相当)を支援する。ドイツハンプルクRCの4台の車両支援も2年半が過ぎ、資金面で継続が無理となった。自治会長が軽トラックを引き続き必要との希望から、車も老朽化が進み新古車に切り替え支援した。東大阪東RC・地区震災支援金とドイツハンプルクRCも加わり、結果的には3者の共同プロジェクトとなった。



支援団から目録贈呈

平成の森仮設の畠山自治会長は218戸515人の被災者が仮設に現在住み、75歳以上が76人もおり、再建までの3年前後の期間軽トラックはなくてはならないと話す。

訪問団から「今後も支援して欲しいことはない

ですか」に、「生活に関しては満たされているが、ハードからソフトへ仮設支援が変わってきている」と、畠山自治会長は話す。復興の住宅再建、造成が順調に進み被災者への生活支援を充実にする事で、被災者は町の復興計画を安心して待ち、仮設生活ができる。

東大阪東RCをはじめとする、国内・国外からの多く支援により被災地は再生へと向かっている。

年賀状・喪中印刷受付中!!

千葉印刷 TEL 0226 (46) 3069

<p>年賀状見本</p>	<p>喪中見本</p>
--------------	-------------

(他にも見本がございます)

南三陸町の地域の伝統を守れ!



入谷八幡神社秋季大祭

入谷打囃子を奉納

水田は黄金色に稲穂が育ち、今年は多雨や猛暑はあったものの、平年同様の米の収穫を農協は予定している。

そんな中の9月中旬に入谷八幡神社秋季大祭が開催された。行列は本堂の神事から旧入谷中の石段を下り、入谷農協支所での打ちばやしを披露し、川沿いを巡り一本松のお休み場所で、最後の神事を行う。役員・来賓としての町長の榊を納めがあり、子供たちの入谷打囃子の奉納がされた。多くの地域民に、伝統芸能の打ち囃子の色とりどりの様装に、カメラ愛好家がシャッターを切っていた。



旧入谷中から行列が集落へ

復興への願いの地域の祭りに、多くの報道陣も集まった。獅子を操る舞い手の姿に集まった人たちの目線が集中する。この日は台風の影響で「60%」の降雨量予想に、大祭の開催を危ぶむ声もあったが、午前中の一連の秋季大祭の行事は無事に開催された。

一年間の地区の繁栄が祈られ、3.11からの震災の早期復興への願いを、集まった皆さんが手を合わせ祈り誓いあった。



子供たちの軽妙な舞い

未来への教訓

大津波の記憶を風化させない

平成25年(2013年)
～地元報道より～

8月の出来事

◆交流と体験の拠点が開所

南三陸町志津川御前下地内に「南三陸ポータルセンター」がオープンした。この日落成したアムウェイハウスは3部屋に仕切れる大ホールやキッチン、ウッドデッキなどがあり、今後は語り部や体験プログラム、教育旅行の受け入れなどに使用するほか、町内外の団体に有料で貸し出しする。



旭ヶ丘団地からポータルセンターを望む
(マイタウン企画撮影)

◆農地の再生作業始まる

南三陸町志津川保呂毛地内の耕作放棄地で、気仙沼市の団体による農地の再生作業が始まった。放棄された旧水田を畑として整備し、農園としてよみがえらせる試みで、今後は徐々に活動場所を広げ、希望者への貸し出しや観光・体験農園として活用していく計画だ。

◆てん店マップ作成

南三陸町内に点在する店舗を集めた「南三陸てん店マップ2013」が出来上がった。観光関係事業所で組織する町地域観光復興グループによる企画で、主に仮設商店街に属さないで個々に営業している店を掲載している。

◆飲酒運転根絶へ

南三陸地区安全運転管理者会は8月8日、町内の加入事業所から集めた飲酒運転根絶に向けた署名簿、1736人分を南三陸署に提出した。同署では「取締りを強化するとともに、根絶に向け、危険性などを今後も訴えていく」と話している。

◆『疲れたら休憩を』安全運転呼び掛け

南三陸町交通安全対策協議会と南三陸署は8月9日、国道45号黒崎パーキングで街頭キャンペーンを行い、ドライバーに安全運転を呼び掛けた。町内では、復興事業関係の車のほか、県外からの観光客などで交通量が増加しており、参加者は「疲れたら休憩してください」と声を掛けながら、啓発グッズなどを手渡し、事故防止を促していた。

気仙沼本吉地区 中体連新人大会結果

●志中剣道部男子団体優勝

(歌津中の連勝ストップ)

●歌津中剣道部女子団体優勝

(他校の女子部団体組めず)

バスケットボール【男子】

◇準々決勝 松岩45-36歌津 津谷106-53志津川

【女子】

◇1回戦 条南72-36戸倉 歌津70-25唐桑 津谷81-29志津川

◇準々決勝 歌津63-45新月

◇準決勝 条南58-25歌津

◇第3シード決定戦 歌津59-20面瀬

バレーボール【男子】

◇総当たりリーグ

志津川2-0階上 志津川2-0松岩

志津川2-0大島 志津川2-0面瀬

①志津川(4勝)《北部ブロック大会へ》

【女子】

◇予選▷第1グループ②歌津▷第3②志津川

◇決勝トーナメント準々決勝

面瀬2-0志津川 松岩2-1歌津

卓球【男子】

◇団体▷予選リーグBチーム①志津川

◇決勝トーナメント準決勝 志津川3-0鹿折

◇決勝 面瀬3-2志津川

《面瀬、志津川が県大会へ》

【女子】◇団体

▷予選Aリーグ③志津川▷Bリーグ③歌津④戸倉

ソフトテニス【女子】

◇団体▷予選Bリーグ ③志津川・戸倉

平成25年度 第2回輝き杯争奪交流大会成績表

平成25年9月29日(日) 南方仮設交流広場 ◎参加者数 66人(男38人・女28人)

◆総合

優勝	氏名				
	越後幸三				
打数	1打	2打	3打	4打	5打
30	2	8	6		



南方仮設グラウンドゴルフ場で大会に向け練習をする



◆男子の部

順位	氏名	打数	1打	2打	3打	4打	5打
1	越後幸三	30	2	8	6		
2	阿部雄衛	36	1	8	6	1	
3	首藤孝吉	36	1	7	8		
4	畠山武人	36	1	7	8		
5	古澤孝夫	37	1	8	5	2	

◆女子の部

順位	氏名	打数	1打	2打	3打	4打	5打
1	千葉夏子	36	2	6	5	2	1
2	浅井陽子	36	2	5	6	3	
3	西條亀代子	39	2	5	5	2	2
4	梅澤てるゑ	42	1	3	10	2	
5	中津川洋子	45		7	5	4	

◆漂流ポスト古里へ帰る 歌津夏まつり

震災の津波で流され、沖縄県西表島に漂着した南三陸町歌津の郵便ポストが8月11日、2年5ヵ月ぶりに古里に帰ってきた。

この日、伊里前福幸商店街で行われた「歌津復興夏まつり」の席上で日本郵便から町にポストが寄贈された。

「ポストくんおかえりコンサート」も開かれ、ポストの里帰りに協力があった沖縄の人気バンド「BEGIN」や、歌津出身の歌手・まきのめぐみさんら出演者が祭りを盛り上げた。



旧伊里前に人が集う

◆一緒に輪になって 大盆踊り大会

南三陸町さんさん商店街で8月14日夕、「大(メガ)盆踊り大会」が開かれた。

南三陸ふっこう青年会による企画。月遅れ盆とあって観光客や帰省客も見られ、地元住民と一緒に輪になって踊りを楽しんでいた。

柔道【男子】

◇団体 ①志津川(5勝)《県大会へ》

◇個人▷50kg以下級 ①小野寺礼嗣(志津川)②山内凌人(同)▷55kg以下級 ①阿部晃太(志津川)▷重量級 ①渡邊飛龍(歌津)②渡邊淳(志津川)▷90kg超級 ①三浦蒼太(志津川)②千葉健二(同)

剣道【男子】

◇団体 ①志津川《県大会へ》③歌津

◇個人▷2年 ②千葉渉(歌津)《県大会へ》③須藤駿介(志津川)▷1年 ②千葉響稀(歌津)

【女子】

◇個人▷2年 ①岩石桂惟(歌津)②阿部のり(同)《以上県大会へ》③千葉帆乃華(同)④杉田のばら(志津川)▷1年 ②千葉莉央奈(歌津)

野球

◇1回戦 気仙沼4-1志津川

◇準々決勝 歌津3-1気仙沼 条南6-3戸倉

◇準決勝 歌津1-0階上・小原木

◇決勝 歌津3-1唐桑

サッカー

◇予選Aリーグ 歌津3-2志津川

新月2-0歌津 津谷9-0志津川

新月2-1志津川 津谷9-0歌津



志津川中学校剣道部男子

◆水面の明かりに手を合わせ

南三陸町志津川の荒戸漁港で8月16日夜、先祖や震災犠牲者らを供養する灯籠流しが行われた。

全慶寺護持会が主催し、震災前から続けている慣例行事で、水面に浮かぶ柔らかな明かりに住民たちが手を合わせた。

◆なくそう大型車両事故

南三陸町でダンプやトラックなど工事関係車両が増える中、がれき運搬車両のドライバーなどを対象にした交通安全講習会が8月19日、入谷公民館で開かれた。

がれき処理に当たるJV(共同企業体)の運転手約20人が運転適性検査器を使って危険認知、判断、操作の欠点を判定するなどした。

◆あきれ不法投棄

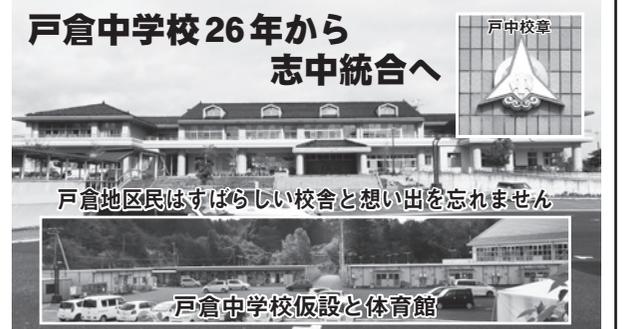
南三陸町公衆衛生組合連合会が8月18日、志津川磯の沢地内の県道沿いで不法投棄されたごみの撤去作業に汗を流した。

連合会役員11人と町環境対策課職員3人が実施。冷蔵庫やブラウン管テレビ、洗濯機といった大型の家電製品のほか、タイヤや空き缶、ペットボトルなどが崖下面に捨てられている場所もあり、中には、この2～3週間に捨てられたとみられる洗濯機も見つかった。ごみは合わせて690kgほど集まりクリーンセンターで分別された。

連合会の阿部会長は「捨てたごみは自分たちの海、川を汚すことにもなることを知ってほしい」と話している。

◆戸倉中の校名削除へ

南三陸町教育委員会の定例会が8月27日、町役場で開かれた。この中で町立学校の設置に関する条例の一部改正議案が決定され、戸倉中学校の志津川中学校への統合にあたり、条例に記載されている戸倉中学校の校名を削除することと、伊里前小学校に併設されている名足小学校の住所を元の場所へと戻すことが決められた。



◆志津川小 児童が木工作品づくり

清水建設の東京木工場による木工教室が8月22日、南三陸町立志津川小学校で開かれた。

木のぬくもりを感じてもらおうと昨年に続き2度目の開催となり、児童たちが巣箱や本立てなどの木工作品づくりに挑戦した。

◆新山千春さんが読み聞かせ

JXグループの復興支援ボランティア活動が8月26日、南三陸町立志津川保育所で行われ、子供たちがタレントの新山千春さんによる読み聞かせとミニ縁日を楽しんだ。